

令和2年度

第一回苦情処理委員会議事録

進行 佐藤 かほる

記録 及川 文恵

1、日時及び場所 令和2年7月6日(月) 午前9時30分～10時30分
ふじなでしこ こども園 応接室

2、園長あいさつ

年度当初から新型コロナウイルス対策で、例年と違うスタートとなった。

感染症予防の対策として、園児の受け入れを玄関で行い、保護者が園内に立ち入らないようにするなど配慮して受け入れを行った。また、園内消毒も感染症の予防として行うようにしている。

行事に関しても中止のものが多かったが、6月から課外体育・英語など再開し始めた。

年長児は、おみこし作りをして1工区公園の周りを練り歩く等、工夫して行事を楽しんでいる。先日は、年長児のお泊り会があり、子どもたちも楽しんで過ごしていた。

今後も、感染症対策を行いながら子どもたちが楽しんで園生活を過ごせるよう配慮していきたい。

3、議事

①苦情報告

○報告者 及川 文恵(ふじなでしこ こども園主幹保育教諭)

・6月2日 苦情ポストへの投函の苦情について

※別紙参照

職員の人数配置について

・6月18日 電話での苦情について

※別紙参照

園バス停での子どもたちの様子について

○宍倉 有紀(撫子学童クラブ主任支援員)

・苦情報告なし

・4月から現在までの学童の子どもたちの様子について

利用人数 約80名

4月当初は、忘れ物などが多く見られたが指導する中で改善されている。

学習時間など密にならないよう工夫して過ごしている。

夏休みのレクレーションを計画中であり、感染症予防に気を付けながら行っていきたい。
2年生、4年生の女子のトラブルが多く見られ、その都度、指導を行っている。

○日山 洋子（滝沢中央学童保育クラブ第一主任支援員）

- ・苦情報告なし
- ・4月から現在までの学童の子どもたちの様子について
通常利用児 47名 一時利用児 14名 計 61名
在園児童が新しい環境に少し戸惑う姿が見られた。
例年よりも宿題が多いように感じる。
前年度は室内でのドッジボールを楽しんでいたが、密を避けるため、今年度は小学校の校庭をお借りしながら外遊びを楽しんでいる。
例年よりも土曜日利用児が多いため、6月より申し込み方法を見直した。
小学校の先生とも面談を行ったことで、情報共有をすることが出来た。

②第三者委員より

○目時 礼子委員

危険個所がないか、近隣のパトロールを行った。
1工区公園の照明が壊れて撤去されているため、夜に照明がつかず暗い。
鶺鴒保育園から八幡歯科までが40キロ制限。そこから先は制限なしとなっている。
40キロの標識があると良いと感じる。また、こども園前は30キロ制限でも良いのではないか？→園として、滝沢市に要請中（連絡待ちであるが、再度確認をしていく）
歩道については、マンホールが浮き上がっている個所や家庭のプランターが歩道にはみ出ている個所もあるため散歩のときなど気を付けて頂きたい。

不審者情報

滝沢ニュータウン内での目撃情報や、女子高生が追いかけられたとの報告もあるので気を付けて頂きたい。

→学童では、習い事に通う児童もいるので、保護者とも相談しながらにしていきたい。

○佐生 正代委員

苦情については迅速に対応されていると感じる。
学童職員も利用人数に対して手厚いと感じる。

④その他

- ・次回の苦情報告会の日程について
2月8日（月）9時30分～

5、閉会

出席者・第三者委員 佐生 正代委員・目時 礼子委員

- ・ふじなでしこ こども園 責任者 中田 真理子・受付担当者 佐藤 かほる 及川 文恵
- ・撫子学童クラブ 責任者 朽木 慎悟 ・受付担当者 宍倉 有紀
- ・滝沢中央学童保育クラブ第一 責任者 朽木 慎悟 ・受付担当者 日山 洋子